

7

吐いたとき

観察のポイント

- 子どもはいろいろな原因でよく吐きます。あわてずにお子さんの様子を観察してください。何回吐いたのか、急に吐いたのか、せきをした後で吐いたのか、吐いたものはどのようなものかをよく観察してください。
- 腹痛や頭痛はあるか、熱はあるか、お腹は張っていないか、機嫌はどうか、食欲はあるか、下痢があるかを観察してください。



こんな時はどうするの？

しばらく様子を見ましょう

(診療時間中にお医者さんへ)

- 吐いたが食欲もあり、機嫌もよい
- 吐き気が止まった後、水分が飲める
- 下痢、発熱などがなく、全身状態がよい



すぐお医者さんへ

- 続けて何度も吐いている
- 吐いたものに血液や胆汁(緑色)が混じっている
- ひきつけを起こすか、意識がぼんやりしている
- 強い頭痛や腹痛をとこなう
- 熱が高いとき
- キーッというような激しい泣き方をする
- おしっこが長時間出していない
- 出た便に血液が混じっている



家庭でできること

- 吐いたものが気管に入らないよう、からだを横向きに寝かせる。
- 吐いた後、うがいのできる子どもはうがいをさせる。
- 吐き気が止まったら、水、子ども用イオン飲料を少量ずつ様子を見ながら与えてみます。4～5回飲ませて、吐かないようならば、朝まで様子を見ていても大丈夫です。

※牛乳、炭酸飲料、オレンジなどの柑橘系の飲み物は避けましょう。



なんでも医療相談

Q & A

Q どうして赤ちゃんはよく吐くのですか？

A 生まれてまもない赤ちゃんの胃は、胃の入口（噴門）のところが未熟で、ちょっとした刺激でもミルクを吐いてしまうことがあります。順調に体重が増えていけば、多少吐いても心配はいりません。

Q 吐き気が止まったときの食事はどのようなものを与えたらよいですか？

A 消化の良い「おかゆ」や「うどん」などのやわらかい物を少量ずつ与えましょう。乳製品、油の多い物、繊維質の多い物、硬い物、冷たい物などは避けてください。

Q スポーツドリンクと子ども用イオン飲料はどこが違うのですか？

A どちらの飲料も塩分と糖分が水に溶けたもので、水よりも早く水分・電解質（ナトリウム、カリウムなど）が体に吸収されます。スポーツドリンクは子ども用イオン飲料よりも糖分が多く含まれているので、子ども用イオン飲料を与えましょう。